

ふくおか県 芸術文化祭 2024

記録集 ～Report～



福岡県文化団体連合会

目次

◆事業一覧表

ふくおか県芸術文化祭 2024 開催事業（参加事業を除く）	1
ふくおか県芸術文化祭県文連主管事業	2

◆事業概要報告

学校等芸術家派遣事業	3
------------	---

〔分野別事業〕

第30回ヴォーカルアンサンブル・フェスティバル2	8
福岡県和太鼓フェスティバル	9
吟剣詩舞フェスティバル	10
ふくおか県芸術文化祭2024俳句大会	11
第32回短歌大会・第24回福岡県ねんりん スポーツ・文化祭短歌交流大会	12
第32回県民茶会	13
第93回筑前琵琶全国大会	14
押し花フェスティバル	15
第17回 京築地区中学校 総合文化祭	16
第16回バレエフェスティバル	17
この星に生きる～詩歌の岸边にて	18
第79回福岡県美術展覧会（県展）	19

〔地域別事業〕

第19回福岡文化連盟祭り福岡アートビエンナーレ 2024	21
松本清張生誕115周年記念「西郷札」演劇公演	22
福岡Ⅰブロック芸術文化のつどい	23
第27回福岡Ⅱブロック「芸術の祭典」in糸島	24
北九州ブロック芸能のつどい	25
ふくおか県芸術文化祭 2024 北筑後ブロック in うきは	26
南筑後ブロック芸能フェスティバル	27
吟声を聴く筑豊吟詠大会	28
第25回京築ふるさと文化祭	29

ふくおか県芸術文化祭2024開催事業

事業区分		事業名	開催地	会場	開催日
オープニングフェス		オープニングフェス（メイン会場）	福岡市	天神中央公園	10月5日、6日
		アクロス・クラシックふえすた2024	福岡市	アクロス福岡	10月5日、6日
		オープニングフェス（サテライト会場）	北九州市	イオンモール八幡東1F ひまわりの広場	10月12日
次代を担う 子ども文化 芸術鑑賞・ 体験事業	子ども文化芸術 鑑賞・体験助成 事業	元タカラジェンヌ 秋音光ダンスショー & 子どものためのダンスワークショップ	古賀市	リーバスプラザこが 交流館 多目的ホール	10月12日～14日
		砂音の奏でる世界	桂川町	桂川町住民センター	11月17日
		劇団ショーマンシップ公演「トマトくんの ありがとう」&読み聞かせ体験	福岡市	甘棠館カルチャーホール	12月1日
		創作劇「Princess Revolution ～棘の森と 黄金の翼～」	久留米市	久留米市城島総合文化セン ター インガットホール	12月8日
		ジュニアときめき文化祭	大野城市	大野城まどかぴあ	12月14日～15日
		大濠公園能楽堂子ども能楽教室	福岡市	大濠公園能楽堂	12月26日～28日
	学校等芸術家派 遣事業	県内の小中学校、特別支援学校、児童養護施設、院内学級にて開催			9月～12月
地域文化芸術創造事業		宗像国際芸術文化交流フェスティバル	宗像市	宗像ユリックス 芝生広場	11月2日
		能楽公演 『水都（suite）柳川能』	柳川市	柳川市民文化会館	10月19日
		第51回久留米ちくご大歌舞伎	久留米市	久留米シティプラザ「ザ・グ ランドホール」	10月27日
		劇団ショーマンシップ公演「大正くるま浪 漫～矢野倅一の挑戦」	芦屋町	あしや夢リアホール	11月23日
		日本海の神々～宗像の女神と越の女神～	宗像市	宗像ユリックス 大会議室 （講演会）、展示室（美術展）	11月26日～28日
		箏曲宮城会九州支部 第49回福岡部会定期演奏会	福岡市	福岡市立中央市民センター ホール	12月1日
		第九を歌うバイ in たがわ2024	田川市	田川文化センター	12月1日
		悠久の時を超えるシネマコンサート 2024	福岡市	FFGホール	12月2日
		久留米第九2024	久留米市	久留米シティプラザ「ザ・グ ランドホール」	12月28日
伝統芸能魅力発信事業		福岡伝統芸能フェスタ2024 ～福芸FUKUGEI～	福岡市	大濠公園能楽堂	10月20日
		能楽入門講座	福岡市	大濠公園能楽堂	10月14日、11月20日、12月 21日
県主催事業		表彰式	太宰府市	九州国立博物館	12月22日
		福岡県文化賞贈呈式&記念イベント	福岡市	アクロス福岡国際会議場	12月15日
		2024ふくおか県障がい児者美術展	県内5地区	福岡県庁 他4会場	令和6年11月12日～ 令和7年1月13日
		ツナガルアートフェスティバルFUKUOKA	筑後市	九州芸文館	令和7年1月18日～2月24日
		2024福岡県シニア美術展	福岡市	福岡県立美術館	10月5日～14日
		ふくおか文化ボランティアフォーラム2024	福岡市	福岡県庁	10月30日

ふくおか県芸術文化祭2024 県文連主管事業

事業区分	開催日	事業名	開催地	会場	
分野別事業	合唱	10月13日(日)	ヴォーカルアンサンブル・フェスティバル	飯塚市	イツカコスモスコモン
	太鼓	12月1日(日)	福岡県和太鼓フェスティバル	篠栗町	クリエイト篠栗
	吟剣詩舞	10月13日(日)	福岡県吟剣詩舞フェスティバル	春日市	春日市ふれあい文化センター
	俳句大会	11月20日(水)	俳句大会	福岡市	ホテルニューオオタニ博多
	短歌大会	10月27日(日)	短歌大会	福岡市	JRE天神クリスタルホール
	県民茶会	11月9日(土)	第32回県民茶会	朝倉市	美奈宜神社(林田)境内
	筑前琵琶	11月16日(土)	筑前琵琶鑑全国大会	福岡市	大濠公園能楽堂
	押し花	11月15日(金) ～17日(日)	押し花フェスティバル	福岡市	アクロス福岡 交流ギャラリー
	中文連	12月1日(日)	令和6年度京築地区中学校 総合文化祭	みやこ町	サン・グレートみやこ
	バレエ	12月7日(土)	第16回バレエフェスティバル	大野城市	大野城まどかぴあ
	詩人会	11月19日(火) ～24日(日)	この星に生きる～詩歌の岸辺にて～	福岡市	福岡市美術館ギャラリー
	県展	9月3日(火) ～11月24日(日)	第79回福岡県美術展覧会(県展)	福岡市 他4市	福岡県立美術館 他4会場
地域別事業	福岡市	11月19日(火) ～24日(日)	第19回福岡文化連盟祭り アートビエンナーレ福岡2024	福岡市	福岡市美術館、大濠公園日本庭園茶会館、他
	北九州市	11月23日(土) ～24日(日)	「西郷札」演劇公演	北九州市	J:COM北九州芸術劇場 中劇場
	福岡Iブロック	11月24日(日)	福岡Iブロック芸術文化のつどい	宇美町	宇美町中央公民館
	福岡IIブロック	10月19日(土) ～20日(日)	第27回福岡IIブロック 「芸術の祭典」in糸島	糸島市	伊都文化会館
	北九州ブロック	12月1日(日)	北九州ブロック芸能のつどい	直方市	ユメニティのおがた
	北筑後ブロック	11月24日(日)	ふくおか県芸術文化祭2024 北筑後ブロック in うきは	うきは市	うきは市文化会館 「白壁ホール」
	南筑後ブロック	10月6日(日)	南筑後ブロック芸能フェスティバル	大川市	大川市文化センター
	筑豊ブロック	12月8日(日)	吟声を聴く筑豊吟詠大会	大任町	OT0レインボーホール
京築ブロック	11月23日(土) ～24日(日)	第25回京築ふるさと文化祭	吉富町	吉富フォーユー会館 吉富町体育館	

学校等芸術家派遣事業

芸術文化の楽しさ、素晴らしさを多くの児童・生徒たちへ

会場：県内小中学校・特別支援学校・児童養護施設・院内学級

事業概要

この事業は、プロの芸術家や伝統文化の継承者等を派遣して、学校教育活動等の中で様々な芸術文化を体験することにより、芸術文化の楽しさや素晴らしさを知る機会の充実を図り、児童生徒の豊かな人間性と多様な個性を育むことを目的として実施している。

平成17年度から県内の小学校、中学校、特別支援学校で実施してきた「芸術体験講座」を、令和6年度から、新たに児童養護施設、院内学級にも芸術家を派遣することとし、名称を「学校等芸術家派遣事業」に変更した。

事業の内容

○実施機関

福岡県文化団体連合会（事務局）に「令和6年度学校等芸術家派遣事業実行委員会」を設置。（以前の「芸術体験講座」実行委員会は平成25年度から設置）

○事業の実施時間等

- ・時間：原則 学校1回90分
（学校の授業単位2時限相当）
- 養護施設1回60分
- 院内学級1回30分

・会場 学校等の各施設（体育館講堂、多目的ホール、フロア等）

○事業実施の留意点

- ・事業実施希望校等調査と実施校等選定
- ・芸術団体と学校等間の事業内容の確認
- ・事業実施当日の連絡調整と実施（結果）報告書の提出
- ・事業実施による成果の確認

「芸術体験講座」から「学校等芸術家派遣事業」へ

○本年度から、名称が「芸術体験講座」から「学校等芸術家派遣事業」と変わり、今までの、県下小・中学校、特別支援学校に児童養護施設、院内学級を加えて事業を実施した。

○児童養護施設での開催に当たっては、令和6年3月22日に春日市クローバープラザで県下21ある施設の施設長会議に出席して、本事業の説明を行った。

○院内学級での開催に当たっては、実行委員が病院に出向き、本事業の説明を行った。

○児童養護施設・病院での開催については、別途、芸術団体に実施の有無を確認した。

学校等芸術家派遣事業を終えて

○本年度から新たに児童養護施設、及び院内学級で開催し、児童養護施設の先生からの感想には、「児童養護施設では、外部からの講師などを招聘することが少なく、小学生から高校生まで幅広い異年齢の集団で過ごしておりコミュニケーションが苦

手で、消極的な児童生徒もいたが、講座の中で講師に導かれ、児童生徒が笑顔で積極的に参加し、新たな面を発見した」という感謝や感動の言葉が多かった。

○病院では、治療のため長期入院生活を送り、日常の生活でも制約が多い中、実際に生の音楽を聴き、楽器に触れることにより、音楽の持つ楽しさ、美しさに感動し、付き添いの保護者、看護師からは、「とても心が安らぎ、癒やされた時間になりました」と述べてあった。また、芸術団体も病院での開催を考慮して、綿密な計画で取り組んでいた。

○小・中学校・特別支援学校での開催は、それぞれ、各団体の特徴を活かし、本事業の目的を概ね達成したと思われるが、若干課題も残した。

○開催会場においては、今年は猛暑続きで9月当初の開催は残暑が厳しかったが、12月の開催では、寒すぎるという意見があった。学校によっては大型冷風機やワイドヒーターなどを用意しているところもあり、臨機応変な対応が望まれる。

○実施校数

1	平成17年度	34校	11	平成27年度	30校
2	平成18年度	32校	12	平成28年度	30校
3	平成19年度	26校	13	平成29年度	20校
4	平成20年度	30校	14	平成30年度	20校
5	平成21年度	31校	15	令和元年度	20校
6	平成22年度	27校	16	令和2年度	17校
7	平成23年度	28校	17	令和3年度	19校
8	平成24年度	30校	18	令和4年度	20校
9	平成25年度	30校	19	令和5年度	12校
10	平成26年度	29校	20	令和6年度	33校

※3校中止

※1校中止

※1校辞退

合計518校

ふくおか県芸術文化祭2024「学校等芸術家派遣事業」実施校等一覧

市町村等	学校等名	学年(年齢)	受講人数	芸術団体名	実施内容
北九州市	朽網小	全	253	九州打楽器合奏団	音楽
	鴨田小	全	332	和楽団ジャパンマーベラス	伝統芸能
	枝光小	全	178	子どもに能楽を勧める会	伝統芸能
	高機小	全	83	ふれあいコンサート実行委員会	音楽
	鞘ヶ谷小	全	196	ふれあいコンサート実行委員会	音楽
	牧山小	6	41	九州打楽器合奏団	音楽
	ひまわり中	全	11	Officeトルース	総合芸術
福岡市	塩原小特支学級	1～6	15	福岡ホルンアンサンブル	音楽
太宰府市	大宰府東中	3	112	福岡ホルンアンサンブル	音楽
那珂川市	那珂川中学校 後野分校	全	20	Officeトルース	総合芸術
直方市	下境小	全	214	和楽団ジャパンマーベラス	伝統芸能
	感田小	3	87	ふれあいコンサート実行委員会	音楽
久留米市	金丸小	6	102	福岡大蔵会	伝統芸能
	上津小	6	98	福岡市能楽協議会	伝統芸能
	水分小	3～4	32	福岡県ダンススポーツ連盟	ダンス
	西牟田小	6	59	福岡大蔵会	伝統芸能
小郡市	御原小	3～4	88	福岡ホルンアンサンブル	音楽
大牟田市	大正小	全	261	福岡大蔵会	伝統芸能
宇美町	宇美東小	5～6	91	和楽団ジャパンマーベラス	伝統芸能
添田町	落合小	全	13	大体2mm	演劇
	真木小	全	26	Officeトルース	総合芸術
赤村	赤小	6	31	劇団さんぼ	演劇
築上町	上城井小	全	18	Officeトルース	総合芸術
	西角田小	全	22	SION	音楽
県立	福岡特別支援	全	133	九州打楽器合奏団	音楽
	古賀特別支援	3～4	83	ふれあいコンサート実行委員会	音楽
	糸島特別支援	小1～高1	90	和楽団ジャパンマーベラス	伝統芸能
北九州市立	小倉南特別支援	中学部1～3	54	シン・ダンシングブリーズ	ダンス
児童養護 施設	双葉学園みのり	9～18	24	結実企画	演劇
	報恩 母の家	7～14	26	和楽ユニット風絃	伝統芸能
	白梅学園	小学生以上	15	プレイ集団YOU 遊	演劇
院内学級	久留米大学病院	1～15	31	九州打楽器合奏団	音楽
	九州大学病院	0～20	23	ミュージック コンソート	音楽

総受講生 2,862名

(内訳：小学校 2,240名 中学校 143名 特別支援学校 360名 児童養護施設 65名 大学病院 54名)

派遣者 201名 (内訳：芸術団体 152名 実行委員 49名)

合計 3,063名

学校からの感想（抜粋）

○本校の3・4年生が受講しました。普段体験することができないダンスに挑戦できる上、外国人講師に教えていただけるということもあり、児童は当日を楽しみにしていました。

今回は「チャチャチャ」というラテンの2人組ダンスを教えていただきました。初めは児童にとってステップが難しく感じたようですが、講師の教え方が楽しく分かりやすかったため、最後はステップを覚えて、楽しく踊る児童も沢山いました。また、色々な芸術家と触れあう機会がいただけたらと思っています。

（久留米市立水分小学校＋福岡県ダンススポーツ連盟）

○目の前で生の楽器の音を聴く機会はなかなかない中、今回はホルン、クラリネット、ドラム、ピアノと色々な楽器の音を体で感じることができました。ホルンの歴史を楽しく説明して下さったり、本校の教諭にも一緒に演奏をする機会をいただいたりと、プログラムの内容も多彩で90分があつという間でした。楽器体験コーナーでは色々な楽器に触れさせていただき、アルプホルンの音が鳴ったときの子どもたちの笑顔は忘れません。土曜授業（参観日）の日に来ていただき、参加させていただいた保護者からは、「実物の楽器に触れることができ、知らなかったホルンの歴史を知ることができた。」担任たちからは、「内容を工夫していただいたおかげで子どもたちが落ち着いて参加できた。」との感想があった。

（福岡市立塩原小学校＋福岡ホルンアンサンブル）

○演劇について児童はイメージしにくい様子だったが、想像したものになりきるゲームを通して、演劇についての楽しいイメージを持つことができた。授業の後の感想では、「演劇を見に行きたい」や「休み時間に演劇をしてみる」等の声を聞くことができた。子どもにとって思い出に残る一日になったようだ。

（添田町立落合小学校＋大体 2mm）

○この度は、素晴らしい時間を有り難うございました。生徒・教職員一同、テバツタさんの圧巻のマジック、特に巧みな話術・手先・表情等の見せ方に魅了され、マジックによって沢山の人の笑顔にすることができるのだと、改めて感じさせられました。レクチャーの時間も、しっかり生徒に寄り添って指導していただき、マジックが成功したときの喜びを皆が感じる事ができました。又、このような機会があれば良いと思います。

（北九州市立ひまわり中学校＋ Office トゥールース）

○国語の授業の中で、「柿山伏」の台詞及び一部を動画で鑑賞していました。しかし、今回実際に舞台上で見ることができ、単なる物語の内容だけではなく、狂言の面白さを表情や台詞、動作から感じる事ができました。動物の鳴き声、動きは実際に見ないとわからないところがあり、現在との違いも感じる事ができたようです。また、基本となる、すり足の動きを体験することができ、改めて、実際に本物に触れることの大切さを教師も感じる事ができました。

（久留米市立金丸小学校＋福岡大蔵会）

児童養護施設からの感想（抜粋）

○普段体験することのできない貴重な時間を有り難うございました。初めは少し緊張していた子どもたちですが、楽器を実際に体験した時には緊張は解れ楽しそうに触っていました。また、日本の和楽器を生で聴く機会もなかなかないため、今回このような機会をいただき感謝申し上げます。

（児童養護施設報恩母の家＋和楽ユニット風絃）

○このような素敵な機会を作ってください、有り難うございました。双葉学園みのはコミュニケーションを取ることが苦手な児童が多いため、結実企画さまの表現活動を選びました。表現活動を通して児童の口元は見せることのない笑顔や発言が見られ職員一同感動しております。今回の講座を通して児童への声かけや、対応など職員も学ぶことができました。又機会がありましたら宜しくお願いいたします。

（児童養護施設双葉学園みのは＋結実企画）

病院からの感想（抜粋）

○普段なかなか体験できないのは勿論のこと。長期入院中の子どもたちや、日々付き添いを続ける保護者にとって、美しい歌と楽器の音色は心を癒やして元気をもらえた事と思います。皆さん夢中で楽器を見つめ、歌に聴き入っていた姿が印象的でした。また、チェロの体験をした子どもたちは、とても喜んでいて、良い思い出になったようです。

（九州大学病院＋ミュージックコンサート）

○今回初めてプロの演奏の方によるコンサートを病棟で開催することができました。

演奏は勿論素晴らしかったですし、何より子どもたちが一緒に様々な打楽器に触れ一緒に演奏できたことが嬉しかったようです。初めて触る楽器が殆どで触れる楽しみと演奏に参加できたことが嬉しかったようです。患者さんだけでなく付き添いの家族にとっても楽しい時間となったようです。

（久留米大学病院＋九州打楽器合奏団）

子ども達からの感想（抜粋）

○楽しかった。また、こんな演奏会があったら参加してみたい。チェロの体験をしたけど、こんなに簡単に弾けるとは思わなかった。

（九州大学病院 + ミュージックコンサート）

○私は、いつもはあまり自分からはしゃいだりしないけど、劇団さんぽさんに会って、久しぶりにはしゃいだ気分がしました。私はこの活動の経験をして、毎日友達とこの日に学んだ遊びをするようになりました。私は劇団さんぽの先生たちのような仕事ができたらと思います。

（赤村立赤小学校 + 劇団さんぽ）

○太鼓の種類がたくさんあって演奏しながら紹介してくれたので分かりやすかった。太鼓の演奏に手を挙げなかったけど、代表の人が楽しそうに叩いていたので自分もしたくなった。オリジナルの曲も良かったけど千本桜を太鼓で演奏するとこんな風になるのだと思った。

（宇美町立宇美東小学校 + 和楽団ジャパンマーベラス）

○いろいろな音楽の演奏を聞いたり、ダンスと一緒に踊ったり、とても楽しくあつという間の時間でした。いろいろな音楽をいっぱい聞かせてくれて楽しかったうれしかったです。いろいろな楽器でいろいろな音色でした。ダンスも踊って楽しかったし、ありがとうございました。

（直方市立感田小学校 + ふれあいコンサート実行委員会）

芸術家派遣事業を担当いただいた芸術団体・個人の皆さま



劇団さんぽ



結実企画（むすびきかく）



プレイ集団・You 遊



大体 2mm（だいたい にみり）



S I O N



ふれあいコンサート実行委員会



福岡ホルンアンサンブル



九州打楽器合奏団

芸術団体からの感想（抜粋）

○狂言の解説、狂言「柿山伏」の実演（鑑賞）、小舞「うさぎ」のワークショップを行いました。全校生徒約60名に加えて保護者の方も十数名観覧されました。狂言「柿山伏」は、どの学年の児童も熱心に鑑賞し、また、小舞「うさぎ」のワークショップでは、元気いっぱいに参加してもらいました。

（福岡大蔵会＋大牟田市立大正小学校）

○全校児童200名余り、出会った瞬間に楽しみに待っていてくれたと感じさせてくれる子どもたちでした。コンサートが終わるまで、ずっと笑顔の子どもたち。勿論校長先生も先生方も楽しそうでした。素直なことがこんなにも素敵なおこと、素晴らしいことと感じさせてくれた貴重な時間。子どもたちのおかげで私たちが育てられていると改めて感じた貴重な鞆ヶ谷小学校訪問でした。（ふれあいコンサート実行委員会＋北九州市立鞆ヶ谷小学校）

芸術家派遣事業を担当いただいた芸術団体・個人の皆さま



ミュージック コンソート



シン・ダンシング・ブリーズ



福岡県ダンススポーツ連盟



和楽団ジャパンマーベラス



福岡大蔵会



福岡市能楽協議会



和楽ユニット風絃（かげん）



子どもに能楽を勧める会



Office トゥルース

学校等芸術家派遣事業

○福岡県下の小学校・中学校・特別支援学校・児童養護施設・院内学級に「(登録)芸術団体・個人」を派遣します。

○派遣できる(登録)芸術団体・個人の皆さまは、「伝統芸能(能、琴、尺八など)」、「音楽(ピアノ、ヴァイオリン、ホルンなど)」、「ダンス」など、学校等が講座を選べます。

○細かなお手伝いは、「学校等芸術家派遣事業実行委員会」が行います。

○実施に要する報酬(謝金)、交通費(旅費)は、福岡県文化団体連合会が負担します。

第30回ヴォーカルアンサンブル・フェスティバル

アンサンブルの楽しさを多くの人たちに

会場：イイツカコスモスコモン中ホール 開催日：令和6年10月13日(日)

事業概要

福岡県内で活動している2名～16名までのアマチュアコーラスグループを対象とするフェスティバル。発表の機会が多くない小人数のコーラスグループに発表の場を提供すると共に、県民による楽しいイベント。

当日の状況

県内各地から集ったグループによる熱演が、10時の開演から16時終演まで、歌い合う事の良さを共有する場として、繰り広げられました。講師のお二人には、本日の演奏についての講評を記していただくとともに、各講師から「ヴォーカル賞」「アンサンブル賞」「フェスティバル賞」「アンコール賞」を選出。選考中は、観客による抽選で選ばれた「サプライズ賞」があり、選考終了までの時間に演奏していただく、心温まる演出に聴く者（観る者）ともに大いに盛り上がり、惜しみない拍手が送られました。また、閉会式では、本会

30回を記念し、最多グループの表彰を執り行いました。

まとめ

・毎年演奏の場を提供し、合唱の原点である少人数のアンサンブルを再認識すると共に、これからも、この催事を通して、県内で活動する幅広い世代の少人数のグループが、日頃の成果を存分に発揮する機会となり、アンサンブルの楽しさを多くの人たちに知ってもらう機会を作ることにより、合唱人口の視野を広げ、他者とふれあい音楽を共有し、合唱音楽の向上・発展につながると信じます。今後も福岡県内で開催し、出演者同志の交流、出演者と聴衆との交流、出演者と開催地の人々との交流など、歌声の輪を通じた人の輪(和)を福岡県内に広げていきたい。

当日プログラム

- ・開会式 10:00 (開演 10:05)
- 1 主催者挨拶 福岡県合唱連盟 理事長 田中日出夫
- 2 講師の紹介 大屋省子 (声楽家)、須山陽子 (ピアニスト)
- 3 各賞の紹介 ヴォーカル賞・アンサンブル賞・フェスティバル賞・アンコール賞・サプライズ賞
- 4 演奏開始 1番～34番
- 5 講師による各賞の発表
- 6 閉会式



福岡県和太鼓フェスティバル

圧倒的なパフォーマンスで 響き渡る和の魅力を堪能！

会場：クリエイト篠栗 開催日：令和6年12月1日(日)

事業概要

福岡県和太鼓友輪会会員団体とゲスト団体が、伝承曲やオリジナル楽曲を演奏する。開催地篠栗町から和太鼓団体「篠栗鼓響」と、福岡県指定無形民俗文化財「太祖神楽」、世界の舞台上で活躍する「和楽団ジャパンマーベラス」が特別出演した。

当日の状況

福岡県和太鼓友輪会会員団体が保存伝承する曲やオリジナル楽曲を披露。幼児からシニア世代まで多くの出演者が、日頃の練習の成果をかいっぱい響かせた。圧倒的な邦楽パフォーマンスで世界的に活躍する和楽団ジャパンマーベラスの特別出演をはじめ、福岡県指定無形民俗文化財の太祖神楽が篠栗町に伝わる歴史と文化を伝承舞で披露。また、和太鼓団体篠栗鼓響は地元篠栗町をテーマにした楽曲を演奏し、舞台に据えた町所有の大太鼓の重厚感溢れる音色に会場が魅力された。

まとめ

コロナ禍を抜け、これまで縮小していた内容も規模を拡大して舞台開催できた。振り付けや発声も以前のように表現でこるようになり、ステージに上がる出演者の表情もより豊かに感じられた。今後も伝統芸能を伝承する発信の場として、開催地やゲスト団体等とも多岐に渡る交流と親睦を深め、期待に応える舞台作りに取り組んでいきたい。

当日プログラム

- ①主催挨拶 福岡県和太鼓フェスティバル実行委員会 実行委員長 小田 幸久
- ②来賓挨拶 福岡県文化団体連合会 理事長 宇田川 宜人
- ③開催地歓迎挨拶 篠栗町長 三浦 正（メッセージ代読）
- ④祝電披露
【特別出演】
和楽団ジャパンマーベラス

【第一部】

太祖神楽（福岡県指定無形民俗文化財 篠栗町）
川筋太鼓 飯塚響学館 疾風&博多響学館 鼓博（飯塚市・福岡市）
つくし太鼓愛好会（筑紫野市）
創価福岡先駆太鼓団（飯塚市）

【第二部】

篠栗鼓響（篠栗町）
九州和太鼓田川大藪太鼓（田川市）
川筋太鼓 博多響学館 翔&遥（福岡市）
下関平家太鼓保存会 勝山会（山口県下関市）



吟剣詩舞フェスティバル

第44回福岡県吟剣詩舞道福岡大会

会場：春日市ふれあい文化センター・スプリングホール 開催日：令和6年10月13日(日)

事業概要

・午前には各会派の人数別による合吟コンクールが行われ、それぞれのチームが日頃の練習の成果を競い合った。午後からは、一般の剣詩舞やコンクールの全国大会や九州大会において優秀な成績を収めた方々の吟詠や剣詩舞が披露され、続いて各会の代表者や役員による吟詠、剣詩舞が行われた。式典では来賓のご祝辞を頂き、最後に合吟コンクールで優秀な成績を収めたグループの発表、表彰が行われ、当日の全行事を終了した。

当日の状況

・合吟コンクールでは、各会派の会員が3人組、5人組、10人組、15人組に分かれて総勢49チームが出場し、8名の審査員が見守る緊張感の中で、それぞれのチームが調和のとれた歌声を競い合った。続いて、舞の会員による勇壮な剣舞や華やかな詩舞も披露され、会場は

和やかな雰囲気にも包まれた。さらに全国大会や九州大会で優秀な成績を収めた会員の吟詠や剣詩舞の披露では、その素晴らしさにため息とともに大きな拍手が沸き、会場は感動に包まれていた。

まとめ

・合吟コンクールは、緊張感の中にも息の合った歌声が会場いっぱいに響き渡り、出場者及び観客の気持ちを高揚させることができ、気持ちを一つにすることの大切さを今一度確認する事ができた。そのことは会員同士の絆を更に深め、練習の成果を披露できる喜びと披露した後の達成感を感じる良い機会となった。また、客席の隅々まで響き渡る優秀な吟詠や舞台いっぱいに繰り広げられる華やかな剣詩舞を見聞きする事は、この伝統文化をさらに広めていくための大きな一歩になったと思われる。今後共、軌道の普及、向上に寄与できる取り組みを推進していき

たい。

当日プログラム

1. 開会の言葉
2. 国歌斉唱
3. 会詩合吟
4. 物故者慰霊黙禱
5. 審査員紹介・審査上の注意
6. 合吟コンクール
7. 一般剣詩舞
8. 九州大会入賞者吟詠・剣詩舞
9. 全国吟詠コンクール決選大会入賞者吟詠
10. 少壮吟士吟詠
11. 役員吟詠・剣詩舞
12. 式典
13. 成績発表・表彰
14. 閉会の言葉
15. 万歳三唱



ふくおか県芸術文化祭2024 俳句大会

福岡県内の俳句愛好者の俳句研鑽と俳句文化の振興

会場：ホテルニューオータニ博多 開催日：令和6年11月20日（水）

事業概要

8月1日から8月31日、俳句作品の募集を行い、県内の434人から1,891句の投句があった。福岡県俳句協会の結社主宰の選者7名による選句を行い、優秀句を選定した。投句者全員に、優秀作品を掲載した作品集を送付した。

当日の状況

・表彰式を11月20日（水）ホテルニューオータニ博多（福岡市）で開催した。福岡県知事賞、ねんりんスポーツ・文化祭俳句交流大会賞をはじめとする各賞の受賞者出席のもと、結社主宰による講話、表彰状・賞品の授与、交流会を内容とする表彰式を開催した。

まとめ

・大会運営事務の軽減を図るため、児童・生徒の部の投句募集を廃止したほか、表彰式での当日句も廃止した。昨年の投句者458名に対し今年度は434名と当日句廃止の影響は見られなかった。県内全域の市町村の俳句愛好者から投句があり、福岡県の芸術文化振興に微力ながら貢献することができたのではないかと考えている。

当日プログラム

- ・14:00 開会行事（主催者あいさつ、来賓ごあいさつ）
講話（俳句結社「青嶺」主宰 岸原清行氏）
募集句の表彰
交流会
- ・16:00 記念撮影、閉会行事



ふくおか県芸術文化祭俳句大会



第32回短歌大会・第24回福岡県 ねんりんスポーツ・文化祭短歌交流大会

福岡の短歌の発展に資するため、県民に広く短歌を募集し、短歌大会を開催する。

会場：JRE 天神クリスタルホール 開催日：令和6年10月27日(日)

事業概要

・毎年短歌大会実行委員会を組織し、広く短歌を募集し、六人の選者が選歌を行い優れた短歌を選定するとともに、全作品を作品集としてとりまとめ応募者に配布した。大会当日に知事賞をはじめとして十三の特別賞の受賞者を表彰するとともに、六人の選者が選評を行った。その後著名な歌人による講演会を行った。

また福岡県歌人会独自の取り組みとして、前年度に上梓された歌集の中から優秀、優良な歌集を選定し表彰を行った。

当日の状況

・12時半に天神クリスタルホールで予定通り開会。短歌の応募総数は685首、参加者は162名であった。知事代理福岡県文化振興課市村課長、宇田川福岡県文化団体連合会理事長のあいさつの後、福岡県知事賞を五所美子氏に、ふくおか県芸術文化祭実行委員会賞を矢野百合子氏

になど特別賞の表彰を行った。その後、優秀歌集賞として五所美子氏の『風師』、優良歌集賞として間千都子氏の『あなた誰』、祐徳美恵子氏の『左肩がしづかに』の表彰を行った。桜川冴子氏や山下翔氏をはじめとする六人の選者による丁寧な選評の後、「水甕」代表の春日いづみ氏による講演「個性を磨く」が行われ、最後まで熱心に参加していただいた。

まとめ

・今年度は初めての会場での開催となったため、会場への案内が大変であったが、案内葉書の地図に工夫を凝らすなどして、無事162名の参加を得ることができた。年々、短歌の応募数が減る傾向にあり、今回から一人二首の制限を三首にして短歌を公募し、昨年より多い685首の応募を得ることができた。大会は12時半～4時半までという長時間に及ぶものとなったが、参加者はメ

モを取るなど最後まで熱心であった。大会の応募作品や受賞作、選評は作品集にまとめ、その概要については歌人会会報52号で報告しているのでご覧いただきたい。

当日プログラム

- ①開会行事 12:30-12:40
- ②短歌大会特別賞表彰式 -13:00
福岡県知事賞 五所 美子 氏
その他 全13名表彰
- ③歌集賞表彰式 -13:55
優秀歌集賞『風師』五所 美子氏
他 優良歌集賞2名
桜川冴子氏による選評
受賞者のあいさつ
- ④選歌講評 -15:10
選者は春日いづみ氏、桜川冴子氏、山下翔氏、植村隆雄氏、西城燐子氏、内藤賢司氏
- ⑤講演会 -16:20
講師 「水甕」代表 春日いづみ氏
演題 「個性を磨く」
- ⑥閉会行事 (入場料は無料)



第32回県民茶会

芸術伝統文化を育む

会場：美奈宜神社（朝倉市林田） 開催日：令和6年11月9日(土)

事業概要

県民の生活拠点である本年度の県民茶会は、朝倉市にある歴史と由緒ある「美奈宜神社」にて開催

当日の状況

オープニングセレモニー地元の方々に気兼ねなく「茶道」を楽しめるように、バンコ席を設え男点前にて皆さまに体験いただいた。
また茶道という伝統文化を若い人たちに知っていただくため子供茶道体験会を開催した。

まとめ

黄色に色づいた銀杏の木の下で、野点前席を設けて地元の方々、また遠方より茶人の方にも大勢来て茶を楽しんでいただけた。また近くには九州場所の相撲部屋があり、ふれ太鼓も聞こえ、力士の皆さんにも一杯の茶を旨いと楽しんでいただけた。神社本殿では子供たちの茶道体験教室を開き、大勢の子供たちが楽しく茶の文化に触れることができた。

当日プログラム

- ・野点席（抹茶）茶道南坊流
- 子供茶道体験（抹茶）茶道南坊流
- 香道 香りを聞く会 香の会
- 雅楽演奏（美奈宜神社有志の会）
- 大菊花市（地元の方々による品評会）



第93回筑前琵琶全国大会

福岡で発祥した筑前琵琶の全国大会を開催しました

会場：大濠公園能楽堂 開催日：令和6年11月16日（土）

事業概要

例年開催している「筑前琵琶鑑賞会」を今年度は「筑前琵琶全国大会」として開催。筑前琵琶発祥の地、福岡に全国の筑前琵琶奏者が集い競演し、福岡郷土の伝統文化の継承・発展並びにその振興を図った。

当日の状況

演奏者有志による「黒田節」の大会奏から始まり、各地域の代表者が筑前琵琶を演奏。古典曲から新曲まで独演や合奏で披露した。

「安達ヶ原」の演奏では、日本舞踊の藤間修一郎さんの踊りが披露され曲の内容が伝わりやすかったと好評であった。また、「華道華の恵み」では演奏に合わせて、新池坊の衛藤利雪さんによるお花の生け込みがなされ舞台が一層華やかになった。最後に大曲といわれる「綱館」では歌う者と筑前琵琶演奏者とに分かれ、横笛の藤舎元夫さんに助演いただいた。歌絃分離による合奏で最

後まで多くの方に筑前琵琶を堪能していただくことができた。

まとめ

福岡発祥の筑前琵琶も全国に広がって、基本の演奏は同じでもその地域での特徴があり、福岡での演奏に慣れ親しんでいる県民の皆さんにとっては新鮮な発見もあったのではないかと。午前から夕方までの長い時間にもかかわらず、最後まで聴いてくださったお客さまもいらっやっやっ、本当に楽しんでいただくことができた。今後も演奏者が一層の努力をして、筑前琵琶の継承・発展に努め、多くの方々を知っていただきたいと考えている。

当日プログラム

1. 黒田節 10:30 開演
2. 若き敦盛
3. 扇の的
4. 耳なし芳一 横笛 梶谷聖幸

5. 湖水渡
6. 月に偲ぶ
7. 壺坂寺
8. 粟津の露
9. 柳の精
10. 北の庄
11. 忠度
12. 貧女の一燈
13. 安達ヶ原 舞踊 藤間修一郎
14. 小栗栖
15. 華道華の恵み 新池坊 衛藤利雪、介添 池田香雪
16. あつもり
17. 対王丸
18. 安宅の関
19. 衣川
20. 鉢の木
21. 岩屋城覚悟の訣別
22. 壇ノ浦
23. 仏御前
24. 羅生門
25. 綱館 横笛 藤舎元夫



押し花フェスティバル

～押し花と共に・・・生活を彩る花たち～

会場：アクロス福岡 交流ギャラリー 開催日：令和6年11月15日（金）～17日（日）

事業概要

福岡で活動中の押し花講師及び生徒の額作品、実用的な押し花小物の展示を中心に、会員の教室活動や押し花ボランティア活動、押し花協会の活動の状況についての展示も実施した。

また、押し花体験コーナーを設け、広く押し花文化を伝えることを目指した。

当日の状況

新型コロナウイルスやインフルエンザ感染の不安を除くため、受付や体験コーナーのテーブルには消毒液を設置するとともに、来場者が入口から順路に沿って観覧していただくようスタッフによる声掛けを実施した。

体験コーナーや活動状況の展示コーナーにもスタッフを多く配置し、来場者一人ひとりに丁寧な説明を行うことにより、押し花に対する理解が深まり、好きになっていただけた。

よう心がけた。

まとめ

会場内の混雑を避けるため、出口と入口を分け、順路に沿ってスムーズに観覧できるように展示を行った。また、パネル展示を減らし、テーブルでの展示を増やしたことで、来場者の流れが容易に把握でき、スタッフの迅速な対応が可能となった。また、体験コーナーを設けたことにより、押し花の楽しさを実際に感じていただけたと思う。今後も会員間で研鑽を重ね、新しい表現方法による作品などを一層充実させるとともに、会場の設営、展示についても工夫を重ね、多くの方へ感動を与えるイベントにしたい。

当日プログラム

〔3日間共通〕

押し花作品展示、教室毎の活動及びボランティア活動資料展示、ミニランプ製作体験等

（開催時間 10:00～17:00（最終日16:00まで））



第17回 京築地区中学校 総合文化祭

繋がれ！ 文化の宝箱 羽ばたけ！ 未来の一番星

会場：サン・グレート みやこ 開催日：令和6年12月1日（日）

事業概要

京築地区2市2郡内の中学生による総合文化祭で、展示とステージの2部門を同一会場で開催する。

展示部門では、中学生たちが授業や部活動等で制作した水彩画やポスター、工作物等、多種多様な秀作を展示する。

またステージ部門では、学校単独や複数校合同での邦楽、合唱、リコーダーアンサンブル、管楽器・打楽器アンサンブル、吹奏楽等の発表や演奏を行う。

当日の状況

当日は、午前の会場と同時に展示部門の参観者が来場されるなど、12月でも寒波到来前で穏やかな気象条件も幸いしたのか、午前中の展示部門だけでも多くの参観者に来場いただいた。

午後からはステージ部門の発表も始まり、さらに多くの参観者が来場してくださり、ステージ発表を終えた

生徒たちも交えて、多くの皆さまに京築地区の中学生たちの発表や作品を見ていただくことができた。

まとめ

今年度の京築地区中学校総合文化祭は、昨年度まで会場として使用してきたコスメイト行橋が、工事のため1年間使用できなくなったことから、サン・グレートみやこに会場を変更して、例年通り12月の第1日曜日に開催することができた。会場変更にあたり、展示場所の選定や計画立案、ステージ発表関連の諸準備など、昨年までの会場との違いに苦労する時期もあったが、各部門の担当者が協力して準備を進めることでコロナ禍以前の状況と変わらない総合文化祭を開催することができた。

当日プログラム

・展示部門・・・10時～16時
生徒作品を展示した学校数：21校

作品数：未集計
学校毎に場所を指定して掲示
水彩画、ポスター、工作物等の作品を展示

・ステージ部門・・・13時～15時半

邦楽（箏、三味線）：1校
合唱（女声合唱）：1校
リコーダー（四重奏・六重奏）：1校
リコーダーアンサンブル（木琴・リコーダー）：1校
打楽器アンサンブル（打楽六重奏）：1校
吹奏楽：5校と3校合同演奏



第16回バレエフェスティバル

クララの夢&ダンスコレクションズ

会場：大野城まどかぴあ 開催日：令和6年12月7日（土）

事業概要

地域の愛好家及び地域で舞踊を学ぶ幼児から青少年までが、世界から来福した芸術家と共に舞台を作り上げる合同作品「クララの夢」、舞踊全般・様々な舞踊で各々の個性と芸術性を発揮するダンスコレクションズ、1曲の踊りの出来栄を競うのではなく、どこまでも伸び行く子ども達を応援し、学ぶ機会となる事を目的とした「若葉のバレエコンクール」を実施した。

当日の状況

今年も、海外からのアーティストの来福ができ、世界のプリンシパルと地域の子ども達・愛好家との協働が無事に実施できた。

ダンスコレクションズでは、今回告知不十分ではあったが例年よりも参加者増加の兆しがあり、教育事業の定着が実感できた。

合同作品「クララの夢」では、初舞台の幼児から地域でバレエを学ぶ青

少年・若葉のバレエコンクールを経てヨーロッパ留学中の学生、クロアチア国立劇場バレエ団元プリンシパルまで、息の合ったスピーディーな舞台進行に観客は引き込まれた。愛らしい幼児の良く揃った舞踊の見事さ、世界のプリンシパルの指導の下、子どもたちの熱演に、観客は熱い拍手を送った。

まとめ

バレエを学ぶ地域の子ども達や愛好家と海外芸術家・世界のプリンシパルとの競演、交流が実現し、参加者の成長が実感出来た舞台となった。世界からの芸術家と共に、若葉のバレエコンクールを経て、ヨーロッパ留学(短期研修・長期留学)を経験した学生達の成長が、地域で学ぶ子ども達の身近に感じられる目標となりアカデミックな教育への興味関心を引き出すきっかけとなったことは喜ばしい。

今回は北九州や久留米、宗像等、会

場の大野城まどかぴあから遠い地域の方が多数ご高覧いただき、会場のアクセスのご説明の重要性を実感した。ガイドブック告知の効果だと、関係者の皆様一同感謝している。今後は、Facebook等の告知にも力を入れる必要性を感じた。

当日プログラム

第1部 ダンスコレクションズ

ダンスコレクションズの一環、バリエーションズとして、第6回若葉のバレエコンクールを実施。後日映像を海外の審査員に送り審査。

オリエンタルダンス — ロマ・フュージョン Deux Guitars—

第2部 クララの夢

地域でバレエを学ぶ子ども達と世界から来福した元プリンシパルの競演による、全幕バレエ作品「くるみ割り人形(全2幕)より、2幕を中心に、1幕後半以降をクララの夢として構成した作品。



この星に生きる～詩歌の岸辺にて～

詩の書き方、読み方、その魅力。詩人・松下育男を迎えて、「詩の教室 in Fukuoka」を開催

会場：福岡市美術館レクチャールーム 開催日：令和6年11月24日（日）

事業概要

詩人松下育男を招き、詩の豊かさを語りつくそうという内容である。第1部は「詩歌の岸辺にて」と題して、詩人松下育男と田島安江のトークイベントを行う。日々の暮らしと詩との関わり、詩によって何が支えられるかなどを語る。第2部では「詩の教室 in Fukuoka」を開催。募集して提出された詩に松下育男が講評を行い、詩の書き方、読み方、魅力を語る。また、美術館ギャラリーでは19日から23日まで詩の展示を行い、連日詩の朗読会を開催した。

当日の状況

第1部のトークイベントでは、松下育男と田島安江が、お互いの生まれ育った場所が、詩にどのように影響を与えているかから語り始め、どのような場面で詩に支えられ、詩が自分にとって何であるかを語った。洒落な語りは客席の笑いを誘いながら

詩への想いは聞き手に伝わった。第2部の「詩の教室 in Fukuoka」では、松下育男が、詩を提出した作者に語りかけながら、書かれた詩の魅力を解説していく。作者本人も来場者も、その講評を聞きながら、詩を読む楽しさに触れていくことができた。会場からの発言もあり、講評への作者自身のコメントもあって、会場が一体化したイベントだった。

まとめ

詩をなにか難しく苦勞して向きあうものと考えてしまうときに、そんなことはない、もっと身近で自分たちそれぞれのつき合い方をしているのだとやさしく迎えられるような時間だった。会場は笑いに包まれ、語られる内容は深いものでありながら、接しやすく親しみやすいものとして受けとめることができた。詩が自分たちの生活にどう関わっているのかを、詩人二人が自分自身と詩との関わりで語っていく。そこには詩

への想いと詩を楽しみたいという気持ちが溢れていた。その想いが「詩の教室」でも表れていて、詩を提出した作者はことばとの出会い、詩を楽しめる時間になったのではないかなと思う。そして、来場者にとっても詩の魅力を感じられたイベントだったと思う。

当日プログラム

開会 12:00
福岡県詩人会代表幹事挨拶

第1部「詩歌の岸辺にて」
松下育男 田島安江

休憩 13:30

第2部「詩の教室 in Fukuoka」
14:00

松下育男
閉会の言葉 15:30



第79回福岡県美術展覧会（県展）

県民の美の祭典、全国有数の公募美術展

会場：福岡県立美術館 他 開催日：令和6年9月3日（火）～11月24日（日）

事業概要

県民から広く作品を募集し、その優れた成果を展示することで、創造意欲を高め、美術を通じた豊かな生き方を支援する。あわせて、福岡県美術協会会員の作品を展示し、福岡県における美術活動のより一層の充実を目指すものである。

主催／福岡県美術展覧会実行委員会（福岡県立美術館、公益社団法人福岡県美術協会、西日本新聞社）

後援／福岡市・福岡市教育委員会 ほか

協賛／株式会社岩田屋三越、ASO ポップカルチャー専門学校、久原本家グループ ほか

まとめ

県民の美の祭典として、「県展」の愛称で親しまれている本展覧会は今年度で79回目を迎えた。出品数、内容ともに全国有数の公募美術展であり、県民の美術活動の振興・発展の一助となっている。どの作品も出品者の情熱の結晶であり、創作の喜びにあふれた力作であった。

公募の部では幅広い世代から2,383点の作品が出品され、入賞・入選作品1,307点、会員の部567点の作品を4期に分けて展示した。また、若年層の取込みのため、高校生の出品料を3,000円から1,000円に値下げした結果、昨年度より高校生の出品数が増えた。さらに、公募の部では10代が6名が入賞するなど、若手作家の活躍が光った。

当日プログラム

■県展（福岡県立美術館）

（1期）彫刻・写真
9月3日（火）～9月8日（日）

（2期）日本画・工芸・デザイン
9月10日（火）
～9月16日（月・祝）

（3期）洋画
9月18日（水）
～9月23日（月・振休）

（4期）書
9月25日（水）～9月29日（日）

【巡回展】

■筑後展（大牟田文化会館）

日本画・洋画・書・写真
10月6日（日）～10月12日（土）

■筑豊展（嘉麻市立織田廣喜美術館）

洋画
10月16日（水）～10月20日（日）
日本画・写真・デザイン
10月23日（水）～10月27日（日）
書
10月30日（水）～11月3日（日・祝）

■宗像展（宗像ユリックス）

日本画・書
11月6日（水）～11月10日（日）
洋画・写真
11月12日（火）～11月16日（土）

■北九州展（北九州市立美術館）

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・デザイン
11月20日（水）～11月24日（日）

当日の状況

【公募の部 出品数・入選数】※入選数には、入賞数も含む。					
部門	出品数	出品人数	入選数	入選人数	
日本画	77	74	56	55	
洋画	439	342	213	207	
彫刻	40	37	26	26	
工芸	140	121	97	92	
書	漢字	477	-	305	301
	かな	222	-	142	137.5
	てん刻	51	-	33	31.5
	調和体	64	-	41	40
	小計	814	766	521	510
写真	639	448	274	263	
デザイン	234	227	120	118	
合計	2,383	2,015	1,307	1,271	

審査員

【日本画】岡村 桂三郎、印藤 勝代、城戸 久美子、塩先 晋照、森田 秀樹

【洋画】坂口 寛敏、宇美 拓哉、瀧井 利子、久富 菜穂子、光行 洋子

【彫刻】林 武史、片山 博詞、世良 伸幸、津田 三朗、宮脇 俊幸

【工芸】外館 和子、猪熊 兼樹、石田 哲志、井上 菊、鹿谷 敏文、松枝 小夜子

【書】山元 宣宏、太田 文子、古 浩興、師村 華香、鈴木 久美子、橘 魁州、三木 清雲、宮崎 悠雲、矢野 菜山

【写真】安珠 (Anju)、高良 慶治、永友 義夫、森山 峰照、八尋 聡

【デザイン】福島 治、阿比留 潔、磯脇 みつこ、湯浅 亮子、横山 淳平

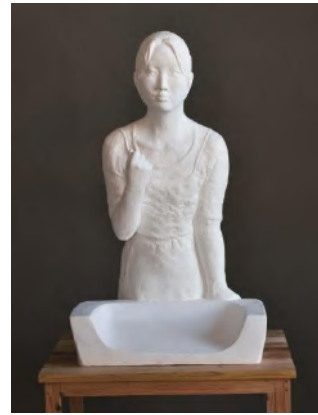
福岡県知事賞



日本画部門
「ひとりじゃない」園田 瑞穂



洋画部門
「真理」小屋松 藍
(北九州市八幡東区)



彫刻部門
「素」神川 祐夢
(太宰府市)



書部門
「張鈇詩」堤 美千子
(筑紫野市)



デザイン部門
「BIG HEAD」星先 こずえ
(大野城市)



写真部門
「赤ちゃん相撲」白石 明
(築上町)



工芸部門
「小倉縮着物 若草」磯部 薫
(北九州市小倉南区)

福岡県 文化団体連合会賞



日本画部門
「望春」松清 博貴
(北九州市八幡東区)



洋画部門
「ウクライナⅡ 戦禍の街」澁田 繁晴
(飯塚市)



写真部門
「ふしぎな窓」中野 知子 (福岡市南区)



工芸部門
「久留米絣着尺『明滅』」田平 健朗
(大刀洗町)

第19回福岡文化連盟祭り 福岡アートビエンナーレ 2024

福岡を代表する美術各分野の作家に加え、文芸、華道や茶道まで含む多様なアートの形を表現

会場：福岡市美術館、大濠公園日本庭園など 開催日：令和6年11月19日(火)～12月22日(水)

事業概要

総合テーマは「この星に生きる」。人間国宝2人、交流先の韓国・釜山の写真作家を含め約100人が参加した「アート展」(本展)はじめ、続発する戦争や災害を念頭に美術と文芸作家がコラボした特別企画展「あかり」、紅葉の日本庭園を借景に和の建築空間を生かした「華展」、会員の美術作家による道具を使用するなど福岡文化連盟ならではの趣向を凝らした「茶席」、詩や俳句の朗読に耳を傾けながら名香を楽しむ「香席」など実施。

当日の状況

福岡市美術館ギャラリーの大半を使用した「アート展」は会員による日本画、洋画、工芸、彫刻、書、写真の大作・力作が並んだ。このうち写真部門は釜山芸術文化団体総連合会の写真家4人を含む「日韓写真交流展」の形をとった。「あかり」展はギャラリーF室の中央にシンボル作

品「花のあかり」を置き、周りを「アートのあかり」「ことばのあかり」が取り囲むよう工夫。「花のあかり」前では連日「お昼の朗読会」を開催。来場者の飛び入り参加もあった。「華展」「茶席」「香席」は日本庭園茶会館と茶室棟で実施。福岡市美術館の会場との連携を意識し、各所に美術部門会員によるインスタレーションを設置。紅葉の季節も相俟って、外国人観光客を含む大勢の来場者でにぎわった。

まとめ

「福岡アートビエンナーレ」の名称としては初開催だった前回より一段とテーマ性を強めた。全体テーマ、企画展テーマともに、世界の現状に対する参加芸術家の危機意識を反映したものであり、今回はギャラリー展にもすべて「この星に生きる」を冠するなど、多彩なイベントがバラけないよう腐心した。福岡文化連盟の持ち味であるコラボレーションに

も一段とこだわり、例えば茶席は床の軸、道具類、菓子までほぼすべてを会員の本職に依頼。初心者向けにもかわらず本格的なしつらえを堪能できる茶席として好評だった。集客も全体的に好調で、有料イベントの茶席、香席も含め前回参加数を上回った。開会式も今回は声楽家や邦舞の会員の協力でコンサート形式で実施。例年にないにぎわいとなった。

当日プログラム

- 11月19日
開会式・記念ステージ(出演日:本舞踊 藤間勢之助 声楽 久世安俊 上田浩平他)
- 11月19日～24日
福岡文化連盟会員展 特別展「あかり」
- 11月22日～24日 華道会員展(大濠日本庭園)
- 11月23日～24日 茶席・香席(大濠日本庭園)



松本清張生誕115周年記念

「西郷札」演劇公演 劇団青春座(北九州文連)

清張文壇デビュー作

明治初期 動乱の中 雄吾と義妹季乃の純愛物語

会場：J:COM 北九州芸術劇場 中劇場 開催日：令和6年11月23日(土)～24日(日)

事業概要

或る新聞社へ送られてきた1枚の「西郷札」と「覚書」。

西郷札とは西南戦争の折に薩軍が発行した軍用手票。覚書には、その西郷札にまつわるある物語が綴られていた。その内容とは…

この覚書を書いた樋村雄吾は島津藩支藩日向国佐土原土族だったが廃藩置県後は百姓になった。しかし西郷隆盛の起こした西南戦争が始まると、雄吾は鋏を捨て刀を手にし薩摩軍へと合流。軍資金捻出のため佐土原でこの「西郷札」の製造発行を担うようになるのだが、雄吾は国元を出るにあたり一つの心残りがあった。薩摩郡の敗戦後、雄吾は故郷に戻るが家は消失、父は死去、義母と義妹季乃は行方知れず。雄吾はその後東京で人力車夫となる。そこで季乃と運命の再会。

嫉妬と謀略が交錯して物語は意外な展開へ！

当日の状況

今年は北九州市が誇る作家「松本清張」の生誕115周年。それを記念し直木賞候補にもなった文壇デビュー作品「西郷札」公演を昨年の年頭より企画し無事に上演することができた。劇中の幕間には北九州市立松本清張記念館館長による記念館の紹介も行った。これにより、参加者のみならず来場された多くの方に広く松本清張先生のことを知っていただくことが出来た。また今回の公演には一般募集により15名の北九州市民が初めて参加・出演した。

まとめ

この作品を通じて、清張作品の奥深さを「学び」実感出来た事で、新たな「気付き」や松本清張の事、文学の素晴らしさを再認識することにもつながり、シビックプライドの醸成にもなったと感じている。今回得た「学び」や「気付き」を教訓にして

今後の演劇活動はもちろん、幅広く文化・芸術活動に活かしていかなければならないと実感した。

当日プログラム

- 11月23日(土)
- 1回目 13時00分開場
13時30分開演
15時45分終演
 - 2回目 18時00分開場
18時30分開演
20時45分終演
- 11月24日(日)
- 3回目 13時00分開場
13時30分開演
15時45分終演

3回とも幕間に北九州市立松本清張記念館古賀厚志館長による清張先生や記念館等の紹介を実施。



福岡 I ブロック芸術文化のつどい

演目、演者の年齢層も多岐に亘る演技が楽しめる舞台

会場：宇美町中央公民館大ホール 開催日：令和6年11月24日(日)

事業概要

粕屋・宗像地区三市七町の文化協会加盟団体と会員による民謡・舞踊・邦楽・洋楽・伝統芸・コーラス・カラオケ・ダンス等のバラエティーに富んだ芸能・舞台を中心とした催しとした。又、オープニングアクトでは、宇美町3中学校吹奏楽部の合同演奏による開演となった。

当日の状況

開催日時：令和6年11月24日
10時00分～16時00分
開会式：10時00分～10時30分
出演団体：28団体 延べ267名
プログラム：28（オープニング、式典、フィナーレを含む）
観客数；約1730名（（会場への入場・退場を繰返しの方は除く）
来賓：32名、スタッフ、出演者を含む 総数 400名

まとめ

今年度から「ふくおか県芸術文化祭2024」と名称が変更になった。例年、演目、演者の年齢層も多岐に亘る演技が楽しめる舞台になっているが、今年も同様に、様々な演舞で観客を魅了する舞台となった。また、子供達による演舞では、昨年と同様にファミリー層などの観客が多数見受けられた。

当日プログラム

- 1) 相撲甚句、
- 2) 箏・尺八二重奏、
- 3) 日本舞踊、
- 4) 日本舞踊、
- 5) ハワイアンフラ、
- 6) 尺八二重奏、
- 7) 日本舞踊
- 8) 和太鼓、
- 9) カラオケ、
- 10) カラオケ、
- 11) ハワイアンフラ、
- 12) 日本舞踊

- 13) 健康体操、
 - 14) 日本舞踊、
 - 15) 朗読、
 - 16) フラダンス、
 - 17) 詩吟（合吟）、
 - 18) 日本舞踊、
 - 19) カラオケ、
 - 20) カラオケ、
 - 21) 日本舞踊、
 - 22) 朗読、
 - 23) ピップポップ、
 - 24) フラダンス、
 - 25) 合唱、
 - 26) 日本舞踊、
- エンディング)
ダンス・開催町役員による演奏



第27回福岡Ⅱブロック 「芸術の祭典」 in 糸島

福岡Ⅱブロック各地域の素晴らしい文化発表と継承

会場：伊都文化会館（大ホール・多目的ルーム） 開催日：令和6年10月19日(土)～20日(日)

事業概要

第27回福岡Ⅱブロック「芸術の祭典」 in 糸島は、テーマを『伊都国からいまそして未来へ』とし、福岡県芸術文化祭の意義を理解し、地域の特性、即ち福岡Ⅱブロック地域の歴史と文化を育んだ土壤に生まれた伝統芸能や作品の数々を会員の皆様と共に有し、新たな交流を広げる事を目的に実施した。

当日の状況

19日土曜日より文芸美術展が先行して始まり、20日日曜日の芸能祭開会式典においては、糸島市長月形祐二様にご挨拶をいただき、沢山のご来賓が見守る中ステージイベントが開催された。

- 太宰府市（筑前琵琶、フラ&タヒチダンス）
- 春日市（語りと合奏）
- 筑紫野市（歌謡、民俗舞踊）
- 那珂川市（吟詠、ダブルダッチ）
- 大野城市（舞踊、バレエ、

JAZZ&Blues&flamenco)

○糸島市（三味線、和太鼓、舞踊、バレエ、コーラス）
文芸美術展示においても、90を超える出展があり、来場者にとっても喜ばれていた。

まとめ

文芸美術展には様々なジャンルの作品が会場を彩り、芸能祭では老若男女が素晴らしい演技を披露し、会場を大いに盛り上げる事ができた。大会テーマどおり、集まった6市団体の皆様が未来へ進んでいくための新たな活動の展開が期待されるものとなった。

当日プログラム

第27回福岡Ⅱブロック

「芸術の祭典」 in 糸島開会式典

10月20日(日) 11:00～
11:25

芸能祭

10月20日(日) 11:30～
15:00

文芸美術展

10月19日(土) 13:00～
16:00
10月20日(日) 10:00～
15:30



北九州ブロック芸能のつどい

文化の継承～多彩な芸能舞台をあなたへ～

会場：ユメニティのおがた 大ホール 開催日：令和6年12月1日(日)

事業概要

北九州ブロック3市6町（宮若市、直方市、中間市、鞍手町、小竹町、岡垣町、芦屋町、遠賀町、水巻町）

の各地域の文化団体に活動している方々が、郷土の伝統芸能や新しいジャンルの芸能を披露し、文化の普及発展を図るとともに、それぞれの団体との親睦を深めた。

当日の状況

昨年度の開催地区である直方市から引き継ぎ本年度は宮若市が担当。本来なら宮若市で開催すべきであるが、会場となる文化センターの空調施設の不具合により、昨年同様、ユメニティのおがた大ホールを会場として実施した。

はじめに、実行委員長野見山弘次がご来賓とご来場の皆様に対し挨拶を行った後、宮若市長塩川秀敏様より心温まる祝辞を頂いた。

その後、各市町から12の文化団体が出演し、和太鼓、吹奏楽、ミュー

ジカル、演劇、コーラス、舞踊、クラシックバレエ、チアダンス、フラダンス、手話ダンスと多彩な演目が披露され、観客を魅了した。

まとめ

当日は、お天気に恵まれ、吹奏楽の楽器搬入や和太鼓の搬入もスムーズに行うことが出来て有難かった。

当日の舞台練習希望が9団体あった為に、10時から11時までの開演前の時間配分に苦労した。

出演者150人、来賓17人、観客数269人来場いただき、昨年比122人増という盛況ぶり、とても充実した芸能のつどいとなった。「様々な舞台を一度に鑑賞できて、楽しい一日でした。」という観客の声に元気を頂いた。

当日プログラム

- 1 鞍手町 南陵太鼓（和太鼓）
- 【開会行事】・実行委員長あいさつ 野見山 弘次
- ・来賓祝辞 宮若市長 塩川 秀敏
- 2 小竹町 Kotake Music Company（吹奏楽）
- 3 宮若市 劇団宮若レインボーカンパニー（ミュージカル）
- 4 岡垣町 混声合唱団「ドルチェ岡垣」（コーラス）
- 5 芦屋町 芦屋瀧懸はまゆう太鼓（和太鼓）
- 6 岡垣町 若峰流牡丹の会（舞踊）
- 7 水巻町 REIKA REVES DANCE STUDIO（チアダンス）
- 8 中間市 フラ・マヒナ・レファ（フラダンス）
- 9 遠賀町 手話ダンス You&I 北野遠賀教室（手話ダンス）
- 10 水巻町 頃末北区音楽部（バンド）
- 11 中間市 スタジオ ベノデ マリア（クラシックバレエ）
- 12 直方市 劇団やしやぶし（演劇）



ふくおか県芸術文化祭 2024

北筑後ブロック in うきは

北筑後地域で活躍中のコーラス・ゴスペル・合唱・吹奏楽等の音楽団体がうきは市に集結！

会場：うきは市文化会館（白壁ホール） 大ホール 開催日：令和6年11月24日（日）

事業概要

市町村文化団体や地域との文化交流を図り地域文化活動を活性化することを目的として、各地区の地域性を生かした芸術文化祭を地域ブロック毎に展開している。北筑後地域事業では、コーラス・ゴスペル・合唱・吹奏楽等の音楽団体をメインに募集し、毎年3日間開催しているうきは市民文化祭と合わせて最終日に計11団体によるふくおか県芸術文化祭2024北筑後ブロック in うきはのステージ発表を開催した。

当日の状況

うきは市文化協会からはコーラス、ゴスペル、合唱の4団体が出演した。うきは市外では、久留米連合文化会からゴスペル、久留米市北野町文化協会から合唱、久留米市田主丸町文化協会からコーラス、小郡市文化協会から吹奏楽、筑前町文化協会から合唱、東峰村文化協会からコーラスが参加し、市外団体は計6団体

となった。また招待団体として、うきは市合唱祭合唱団によるうきは市ならではの演出やうきは市文化協会団体のコラボを約50人規模で披露した。お昼休憩の空き時間があったため、会場内駐車場にはキッチンカーを4台出店させ、来場者や出演者も大いに楽しまれている様子だった。

まとめ

吹奏楽団による豪華なオープニングから開幕し、歌だけでなく観客を楽しませるような仕掛けや演出等が多く幅広い年代による多種多様な音楽を見ていただくことで、芸術・文化の振興を図る事ができた。今回は以前うきは市で開催した令和元年度よりも多くの市外団体からご出演いただき、「開催地だけで完結させるのではなく北筑後ブロック地域全体を巻き込んで実施してほしい」という北筑後ブロック協議会理事会のご意見のもと、うきは市以外の加盟団体

にも積極的にご出演いただくことで出演者同士の交流を図る事ができた。また、出演団体のなかには災害で苦しみながら活動してきた話もされており、災害復興の1つとしても取り組むことができた。

当日プログラム

オープニング ①小郡市民吹奏楽団
セタウインズ（小郡市文化協会）
開会あいさつ②合唱団やまびこ（筑前町文化協会）③浮羽高校 0B 合唱団（うきは市文化協会）④ジュニアコーラスおおぞら（久留米市田主丸町文化協会）⑤ライラック浮羽（うきは市文化協会）⑥SOUL LINK（うきは市文化協会）⑦EMC（東峰村文化協会）⑧フラワーハーモニー北野（久留米市北野町文化協会）⑨合唱団翼（うきは市文化協会）⑩プレシヤスゴスペル（久留米連合文化会）⑪うきは市合唱祭合唱団（招待団体）
閉会あいさつ



南筑後ブロック芸能フェスティバル

大川文化協会・大木町文化協会所属の芸能団体発表会

会場：大川市文化センター 大ホール 開催日：令和6年10月6日(日)

事業概要

大川文化協会・大木町文化協会所属の芸能団体を中心に、能楽・日本舞踊・民謡・洋舞・合唱合奏・吟詠等の発表を行い、大木・大川住民の芸術文化活動への参加を促すと共に、芸術文化活動の活性化の契機とした。

当日の状況

午前中に打合せ・リハーサル・準備を行い、12時30分開演した。1部は、謡曲・能楽・日本舞踊・吟詠・剣舞等の日本古来の芸能を中心に発表を行った。1部終了後主催者・来賓挨拶を行い、2部の洋楽・合唱・民謡、3部の洋舞の発表へ進んだ。前回は、コロナ禍で中止となり7年ぶりの開催となったこともあり、準備も入念に行い、文字通り満を持しての発表となった。終了は予定より30分遅い16時30分となった。その後の片付であったが、出演者をはじめ舞台技術者や業務担当者等の充

実した表情が印象的であった。熱意溢れる観客の声援が見られた。

まとめ

スローガンを「原点回帰 楽しだもん勝ち」とした。学び始めた時のワクワクした気持ちに帰ってとにかく楽しむことは、ある程度達成できた。

・チラシやポスター・看板と共に、プログラム冊子をひと月前に配布することで、参観者の増加につながった。

・演ずる者に、運営に携わる者がいてこの催し物が実施できることを意識付けることができた。

・大川市の減免措置により施設使用料が発生しなかったことで、他の項目への予算が充当できた。

・小学生の参加はあったものの若い世代(中・高・大生等)を巻き込むための手立ての工夫が必要である。

当日プログラム

- ・ I部 12:30~13:30
謡曲、能楽、日本舞踊、吟詠・剣舞
- ・ 開会行事 13:30~13:40
- ・ II部 13:55~15:45
文化琴、ピアノ、合唱、民謡、邦楽鳴物
- ・ 実行委員会挨拶 15:45~15:50
- ・ III部 15:55~16:25
フラダンス、バレエ
- ・ 終了 16:30



吟声を聴く筑豊吟詠大会

来たれ 聴かれよ 筑豊の吟士一堂に会す

会場：OTOレインボーホール（大任町） 大ホール 開催日：令和6年12月8日(日)

事業概要

県民の生活拠点である各地区の地域性を生かした県芸術文化祭を地域ブロック毎に展開することにより、市町村文化団体の他地域のとの文化交流を図ることにより、県民の文化活動への参加を促進し、地域文化活動の活性化に資するために各地域の文化連盟詩吟団体11団体のうち74名の吟者が参加し独吟、合吟あわせて38番のプログラムを構成し詩吟大会を開催した。

当日の状況

オープニングセレモニーで開催地のおどり愛好会による創作舞踊を行い、その後開会式が開会。
開催地である実行委員長挨拶、筑豊文化団体連合会会長挨拶、大任町長の祝辞を行い開会式閉会。
1組約2分30秒の間に、日頃の練習の成果を十二分に発揮出来ていた。38番74名による吟詠大会会場は、ほぼ満席に近い状態で、途中

退席するお客様もいなかった。

筑豊ブロック事業としては珍しい「吟詠大会」の開催だったが、多くのお客様に見て頂くことができた。

まとめ

筑豊ブロック事業は会場が輪番制になっており、大任町での開催は約15年ぶりだったが、今回吟詠大会を開催できましたことは、大変有意義な大会であった。今後も地域の皆様にも詩吟の魅力を知っていただきたいと考えている。

当日プログラム

- ・オープニングセレモニー 12：30～
大任町おどり愛好会による創作舞踊「おとうさくら街道」
- ・開会式 12：40～13：00
 1. 開会のことば
 2. 「吟声を聴く筑豊吟詠大会」
実行委員会会長あいさつ

3. 筑豊文化団体連合会
会長あいさつ
4. 来賓紹介
5. 来賓祝辞
大任町長 永原譲二様
6. 閉会のことば

・吟詠 38番74名による吟詠発表 13：00～15：30
※入場料（無料）



第25回京築ふるさと文化祭

京築の芸能や文化が集結！25回目となる「京築ふるさと文化祭」を開催

会場：吉富町体育館、吉富フォーユー会館 開催日：令和6年11月23日（土）～24日（日）

事業概要

京築7市町（行橋市・豊前市・苅田町・みやこ町・築上町・吉富町・上毛町）の文化協会会員を中心とした文化の祭典であり、ほりおこしフェア（展示部門）では、書道・華道・工芸・絵画・陶芸・写真・短歌・俳句等の作品を展示し、芸能まつり（芸能部門）では、邦楽・民謡・日本舞踊・フラダンス・フレッシュ体操・詩吟・カラオケ等、日頃の練習の成果を発表し、京築地域の文化振興の発展に貢献した。

当日の状況

ふるさとほりおこしフェアでは、130名余りの作品が展示され、出品者が訪れた人達に作品解説や案内を行い、来場者と交流を深めていた。来場者からは、「各地区の方々の素晴らしい作品にふれ、文化の力強さを感じた」「いろいろな方の力作を見て、心が豊かになり自分もやってみたくなりました」等の感想を頂い

た。

ふるさと芸能まつりでは、110名余りが出演し、日頃の成果を十分に発揮した素晴らしい、多彩なステージ発表が多くあり、来場者からは、「今日一日楽しく拝見させて頂きました」等の感想を頂いた。また、京築地区文化協会員のレベルの高さを、多くの人に知ってもらおう良い機会となった。

まとめ

京築ふるさと文化祭は今年第25回目を迎えた。京築7市町それぞれの文化協会の特色・地域性を活かした展示作品やステージ発表があり、全体的なレベルも高く、来場者からは多くの賞賛の声を頂いた。今後も、地域文化の振興及び交流の促進を図ると共に、来場者数の増加を目指し、広報活動等にも力を入れていきたい。

当日プログラム

- ①ほりおこしフェア（作品展示）
会場：吉富町体育館
11月23日（土）10時～16時
11月24日（日）10時～15時
- ②芸能まつり（舞台）
会場：吉富フォーユー会館
11月24日（日）10時～15時
小郡市民吹奏楽団セタウインズ（小郡市文化協会）





福岡県文化団体連合会

〒812-0046

福岡市博多区吉塚本町13-50(吉塚合同庁舎2階)

TEL 092(643)2875 FAX 092(643)2876

ホームページ <https://fukuokakenbunren.jp>

電子メール jimukyoku@fukuokakenbunren.jp

